

保 護 者 様

岡山県立倉敷まきび支援学校
校 長 西 千 秋

令和3年度 学校評価アンケートの集計結果について

時下ますますご健勝のことと、お喜び申し上げます。

さて、先日実施いたしました学校評価アンケートの結果をお知らせいたします。アンケートの回収率は、89.3 % (昨年度 86.3%) で、昨年度よりは3%増加 しました。多くの保護者の皆様にご協力いただきました。

アンケート結果につきましては、17項目中すべての項目で「あてはまる」「ほぼあてはまる」の合計が80%を上回り、高い評価をいただきました。また、昨年度と比較して「あてはまる」「ほぼあてはまる」の合計が比較的大きく増えているのは、「⑭地域の資源や人材を活用したり、地域へ貢献できる活動を進めたりしている。」(3.9%増)でした。

「あてはまる」「ほぼあてはまる」の合計が、昨年度より低下した項目で、減少率が大きかったのは、「⑮ホームページの充実や行事案内など、外部への情報発信を積極的に行っている。」のマイナス3.9%、「⑥自然災害や不審者などに対する危機管理を適切に行っている。」のマイナス3.5%、「⑧鉄道やスクールバスなど通学の安全確保に取り組んでいる。」のマイナス3.2%、でした。また、「あてはまる」という評価のみでみると50%に達しない項目は、「⑦お互いを大切にする教育を行い、いじめの未然防止や早期発見早期解決に向けて取り組んでいる。」、「⑬必要に応じて医療・福祉・労働など、いずれかの関係機関と連携している。」、「⑭地域の資源や人材を活用したり、地域へ貢献できる活動を進めたりしている。」の3項目で、これら3つの項目は、「わからない」という回答の割合が比較的高くなりました。

そこで、これらの項目について、皆様に現在の取り組みの状況をお知らせします。

⑮ホームページの充実や行事案内など、外部への情報発信を積極的に行っている。

まきび通信(学校便り)、Facebook、ホームページ等で活動のようすをお伝えしてきました。Facebook では、毎日100名以上の方に見ていただき、フォロワーも324人(3月16日現在)となりました。今後ともコンテンツの充実、ホームページとFacebook の連携など伝え方をさらに工夫しながら学校の取り組みをお知らせしていきたいと思います。

⑥自然災害や不審者などに対する危機管理を適切に行っている。

被災を体験した本校では、非常変災マニュアルを整備し、避難訓練、引き渡し訓練、不審者対応訓練などを実施し、児童生徒、教職員の訓練を行ってきました。また、PTA に協力をしていただき緊急用備蓄物資の整備も進めています。このような取り組みを丁寧に説明して、災害に対して不安に思われている保護者が、安心してお子様を学校に通わせることができるようにするとともに、今後も登下校も含めて想定されるさまざまな災害に対処できるよう対処法を確認していきます。

⑧鉄道やスクールバスなど通学の安全確保に取り組んでいる。

知的高等部では、従来から鉄道に教員が同乗して乗車指導が行えていましたが、コロナ禍により同乗することが難しくなり、駅での乗車確認や見守りにとどまってしまいました。また、9月にスクールバスが対向車と衝突する事故にあい、大きく報道されました。高等部の鉄道通学生への指導では、鉄道会社から連絡を受けると迅速に対応する体制を整えており、今年度も事実確認に伺ったり行方不明者の捜索を行ったりしております。また、まきび地域学校協働本部安全班の活動で、通学途上の生徒の見守り活動を行っており、こういった取り組みを丁寧にお知らせしていくことが必要だと考えます。

⑦お互いを大切にする教育を行い、いじめの未然防止や早期発見早期解決に向けて取り組んでいる。

本校では、「岡山県立倉敷まきび支援学校いじめ問題対策基本方針」に基づき、いじめの早期発見と早期解決に努力しています。また、児童生徒に毎学期行う「学校生活アンケート」の結果やいじめ事案については教職員で情報共有し、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に努力しております。今後そういった取り組みを保護者の皆様にお伝えしていきます。

⑬必要に応じて医療・福祉・労働など、いずれかの関係機関と連携している。

労働機関との連携では「事業所参観日」を開催し、本校の教育活動に対し理解をいただいたり、アドバイスをいただいたりするなどの取り組みを行いました。福祉機関との連携では、「ふくしの参観日」は今年度開催できませんでしたが、「まきびカフェ」や「出張相談会」などの取り組みも行っています。どうか積極的にご参加いただきますようお願いいたします。医療機関との連携では、必要に応じて主治医訪問を行ったり、通院に同行させていただいたりして、医療機関と情報共有ができるようにしています。このような連携活動も、保護者の方にお知らせできるようにします。

⑭ 地域の資源や人材を活用したり、地域へ貢献できる活動を進めたりしている。

本校は今年度コミュニティスクールに移行しました。従来から「まきび地域学校協働本部」を組織し、地域貢献や地域の資源を活用した授業づくりを進めています。まきび通信(学校便り)、Facebook、ホームページ等で活動のようすを保護者にお伝えしてきましたが、地域型実習や花苗の贈呈などの一つ一つの活動が、地域貢献活動・地域連携活動としてお伝えしきれていないのではないかと考えます。今後も地域と連携した様々な教育活動を計画・実践していくとともに、保護者の皆様にお知らせしていくようにします。

自由記述で、児童生徒の支援や指導に関するご意見、ご質問をいただいています。学校全体で改善できる点は早急に改善を図りたいと考えます。中には既にお伝えしている内容等もありました。学校からの説明が足りず十分にご理解をいただけないためだと思います。今後、ご不明な点等がありましたら、学校にお問い合わせください。

自由記述の中でいただいたご意見は教職員間で真摯に受け止め、保護者や地域の方から信頼される学校づくりに努めてまいります。

令和3年度学校評価アンケート 保護者集計結果

5 当てはまる 4 ほぼ当てはまる 3 あまり当てはまらない 2 当てはまらない 1 わからない

項目	評価内容	5	4	3	2	1	未記入	合計	回収率	肯定率	否定率	5の割合	4の割合
指導	1 個別の教育支援計画や個別の指導計画についての説明があり、指導のねらいや達成度などがよくわかる。	173	85	7	4	5	1	275	89.9%	93.8	4.0	62.9	1.8
	2 校外での実習や地域での学習など、体験的な学習に取り組んでいる。	151	91	23	2	7	1	275		88.0	9.1	54.9	2.6
環境	3 教材や教具の整備、工夫を行い、授業に生かしている。	147	94	11	3	18	2	275		87.6	5.1	53.5	6.6
	4 校内の美化や掲示物など、学習環境に配慮している。	179	80	4	1	9	2	275		94.2	1.8	65.1	3.3
	5 施設・設備は危険がないように整備している。	166	91	6	0	10	2	275		93.5	2.2	60.4	3.7
安全	6 自然災害や不審者などに対する危機管理を適切に行っている。	144	97	6	3	24	1	275		87.6	3.3	52.4	8.8
	7 お互いを大切にする教育を行い、いじめの未然防止や早期発見早期解決に向けて取り組んでいる。	135	89	7	6	36	2	275		81.5	4.8	49.1	13.2
	8 鉄道やスクールバスなど通学の安全確保に取り組んでいる。	138	101	11	7	16	2	275		86.9	6.6	50.2	5.9
	9 児童生徒の人権を尊重し、プライバシーの保護に配慮している。	172	85	8	1	5	4	275		93.5	3.3	62.5	1.8
連携	10 保護者に、連絡や通信で学校の様子を具体的に伝えている。	186	72	9	3	4	1	275		93.8	4.4	67.6	1.5
	11 保護者からの連絡や相談に適切に対応している。	187	72	10	2	2	2	275		94.2	4.4	68.0	0.7
	12 保護者と学校が協力して、PTA活動を積極的にやっている。	126	103	13	4	26	3	275		83.3	6.3	45.8	9.6
	13 必要に応じて医療・福祉・労働など、いずれかの関係機関と連携している。	136	90	16	2	30	1	275		82.2	6.6	49.5	10.9
	14 地域の資源や人材を活用したり、地域へ貢献できる活動を進めたりしている。	124	103	8	3	36	1	275		82.5	4.0	45.1	13.1
	15 ホームページの充実や行事案内など、外部への情報発信を積極的に行っている。	132	104	14	5	18	2	275		85.8	7.0	48.0	6.6
向上	16 障害特性を踏まえ、個々の児童生徒に適した指導をしている。	158	92	10	5	8	2	275		90.9	5.5	57.5	2.9
	17 担任だけでなく学校全体として、指導に取り組んでいる。	133	102	14	4	20	2	275		85.5	6.6	48.4	7.3

